

# 明日にむかって

発行/社会福祉法人 陽光会 陽光保育園 編集/陽光保育園「明日にむかって」編集委員会  
発行日/2004年7月30日 住所/東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎03(3956)1068

45号

核家族化や少子化がすすみ家族をとりまく環境が大きく変わって  
いくなかで、子育ての不安が広がってきています。保育園の役割  
も、働く父母を支えるだけでなく、地域の子育てを支援する役目  
を果たしていくことが求められてきています。しかし国は、一方  
で子育て支援をうたいながら、一方で「構造改革」と称して保  
育園の補助金をカットし、公立保育園の民営化・統廃合・保育料  
の値上げなど、公的保育の大幅な切り捨てを図っています。板橋  
区も17年度から保育料の値上げ、18年度から公立保育園の民営化  
を推し進めようとしています。こうした経済効率優先の政策が子  
どもたちの育ちと父母の生活を脅かし、さらに子育ての不安を  
あおっていくのではないのでしょうか? 保育・子育てに関わるす  
べての人々が手をたずさえ、「子どもたちに最善のものを」を一  
致点にして、真の子育て支援の施策を考えあひ行動していくこ  
とが必要ではないでしょうか。子どもたちのために……。 (T・R)

陽光保育園 ● 地域共育講座 2004年6月19日 / 陽光保育園ホール

## 楽しんでますか 子育て

◆ 気持ちをうまくにして、子どもと向きあう方法

講師 池添素先生

陽光保育園では年に一回、子どものことをテーマに、子育て中の父母のみならず地域の  
方とともに大人が育ちあえる講座を企画しています。今回は、自ら開設、主宰されてい  
る「らく相談室」で、子どもの発達や成長、子育ての悩みや不安など、あらゆる相談にの  
つて父母や保育士から絶大な信頼を得ている池添素先生をお招きしてお話を聞きました。

### 子育てとは 見えない力を育てること



池添素先生は開口一番、「子育ては  
楽しいですか? 私は『楽しい』と聞  
くと、嘘やろっと思ってしまう。実際  
子育ては大変なことですから」と、ご  
自身の子育て経験を振り返りながら言  
われました。「子育てはいつからでも  
やり直すことができます。私の場合、  
子どもが18歳のときから子育てをや  
り直しました。子どものやって欲しいこ  
とを全部受けとめてあげるようにした  
のです」。

子育てとは見えない力を育てること  
であり、そのひとつに、我慢を覚えさ  
せることがあります。「我慢」は我慢  
させることでできるようになるのでは  
なく、見通しをもつことでできるよう  
になる」とのこと。例えば大人は、仕  
事が5時までならそれまで頑張ろうと  
我慢できます。そういう意味で、子ど  
もが何か買って欲しいと言ったとき、



池添素 (いけぞえもと) さん  
1950年京都市生まれ。京都市職員(保育所、  
児童福祉センター療育課など)を経て1994年  
「らく相談室」を開設、主宰。現在、立命館大学  
他4校で非常勤講師、全国障害者問題研究会副委  
員長などを務める。「ちよっと気になる子どもと  
子育て」(かもがわ出版)ほか著書多数。



頭ごなしに我慢しろと言っている  
のではなく、1〜2歳のころには買って欲  
しいと言っているのは全部買ってあげてい  
いと言われます。これには参加者一同驚  
きを隠せませんでした。先生はこう  
続けられました。「何でも買ってあげ  
るといつても子どもが選ぶのは2個で  
す。その2個を我慢させたり、1個だ  
けにしなさいと言われると、自分で物  
を買える年齢になってもコントロール  
がでなかつたり、大人になっても心  
の奥に残ります。それより何でも買っ  
てあげることによって、3歳くらいに  
なると、『買っていいよ』と言っ  
ても、ほんとうに欲しいとき以外は『い  
らない』と言えるようになり、『いつ  
も買ってるから今日はやめよう』と言  
えば、我慢ができるのです」と。

買ってあげるときにはしてはいい  
ことは、ダメと言いつつも買っ  
てしまおうこと。また、これが欲しい  
と言いつつ、「こっちはしたら」と違  
うものをすすめてはいけません。親は  
どうせ買うならよいものと思っても、  
子どもにとってそれは買ってもらえな  
いのと同じことになるのです。

### 叱るのではなく、 気持ちを伝える



子どもにとって大切なのは今この  
ときで、「待たせ」はありません。子ど  
もが「遊んで」というときに遊んであ  
げず、大人の都合のよいときに一緒に  
遊んだり話を聞いても、それは子ども  
を受けとめていることにはなりません。  
子どもには、親と歯車のあう子・あわ

## 園舎を建て替えます

陽光保育園の園舎はかねてより老朽化が問題とな  
り、建て替えが必要とされてきました。子  
どもたちの安全を確保し、陽光の保育を守り、待  
機児対策の一翼を担うべく定員を増やす、地域  
に開かれた施設にするなどを目標に、建設委員  
会(設計検討委員会、財政委員会、広報委員会)  
を立ち上げました。建設委員長は清水水長さん  
(卒園児保護者)、設計は象(しょう)地域設計  
事務所です。仮園舎の場所も決まり、6月末に  
区に整備計画(主に予算の件)を出したところ  
です。9月末まで基本設計(計画)を検討して  
いきますので、ご意見などありましたら、どう  
ぞお寄せください。

電話 03-3956-1068  
FAX 03-3956-9862  
E-mail yohkoh@deluxe.ocn.ne.jp

### 募金のご協力よろしくお祈いします

建築資金のための「ひまわり基金」  
を募集しています。下記口座に振  
り込んでいただくと幸いです。  
郵便振替口座 0014-5-25157  
加入者名 社会福祉法人陽光会 陽光保育園



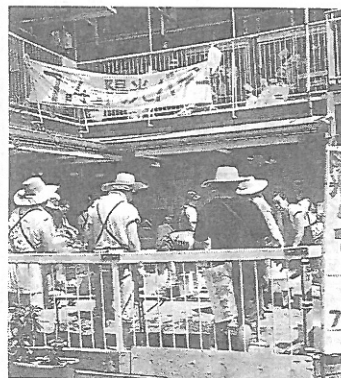
薬物にはまってしまうこともありま  
す。子どものいいところや、「あなたを信  
頼しているよ」ということを伝えてい  
くことがとても大切なのです。

最後に先生は、「子育てとは、自分  
の存在を消す作業です」と言われまし  
た。子どもはやがて親の存在がなくて  
も生きていけるようになるという意味  
です。その前に、子どもが自分ではで  
きない「食べる」と「安心」の二  
つを大人が作っていかなくてはなりま  
せん。安心は大人たちの笑顔にありま  
す。だから、できるだけ笑顔に向けて  
いきましょう。子どもは大人の失敗を  
どんなときも許してくれます。大人も、  
子どものすべてを受けとめ、笑顔で子  
育てをしていけたらと思います。

(保育士 中村里子)

## 参加者の声

- ☆ユーマアっぱいで、経験に基づいて入り込みやすく、関西  
弁に親しみを感じた。印象に残ったのは、①思春期の考え方、  
「信頼してるよ」と伝える大変さ、②命を教える大切さ、③子ど  
もにこうあってほしいと思うと、そこにこだわってよいところが  
見えなくなる、④大人がキレてる? そのとおりだと思う。反省。
- ★子育てすることは次の世代の親を育てること。そこまで考えてい  
なかつたので、この言葉に感動!
- ☆大いに反省することはばかり。せめて今日ぐらいい笑顔で子ども  
向き合って子育てしたいと感じました。
- ★子どもを一人の人格者(人間)として接する、受け止める、そし  
てお互いに話し合うということを聞き、改めて子育てがとても楽  
しみになりました。子どもが投げる意外な球種を楽しみに、そし  
てそれをどのくらい受け止められるかという自分(親)の力を楽  
しみにしたいと思いました。
- ☆仕事が重要で子どもが次になっていた自分を反省。安心できる家  
庭が築けるよう頑張っていきたい。
- ★安心できる関係をつくることの大切さを改めて感じました。その  
ためには自分自身をもっと楽にする必要があるのですね。
- ☆話のたとえがわかりやすく、心にひびく言葉がいくつもあつた。  
「親はキャッチャーである」→どんなボールでもひろわなくちゃ。  
「子どもは親のどんな失敗も許してくれる」→だから子どもの失敗  
も親は許す。
- ★お話のなかに大人の笑顔の話がありました。はっとしました。  
そういえばあまり笑っていないかもと反省。子育てはいつから  
でもやり直しができるという言葉に勇気づけられました。



暑い、暑いバザーでした

### ごあんない

◎ 陽光保育園後援会  
夏の交流会  
とき 8月8日(日)  
場所 三浦海岸  
\*日帰りで海水浴にいきます。すいか  
割りなど楽しい遊びも企画していま  
す。詳しくは陽光保育園までお問  
合わせください。

### ◎ 陽光保育園父母の会 & 後援会

納涼会  
とき 8月28日(日) 19時  
場所 陽光保育園ホール  
\*一品持ち寄り、わいわいがやがや、  
夏の夜を楽しく過ごしましょう。飲  
み物は用意します。コップ、皿、箸  
などお持ちください。お子さまには  
ヨーヨーつりを企画しています。





